

ぽらん便り

～反町カフェぽらんプロジェクト～

反町カフェぽらんは開業から6年が経ち、これからの運営に関する議論を行うことにしました。2021年度までの3か年プロジェクトを振り返り、現状を共有し、カフェ運営と課題、新しい運営方法の提案、方向性や地域との連携などを検討するために、全4回のプロジェクト会議の実施を提案しました。第1回は目的の確認と現状の共有、第2回はコンセプトの検討、第3回は今後の可能性の検討、第4回は今後の展望のまとめを行うことを計画しました。

プロジェクトのコンセプト「生活の学校」「中間的就労の場」「相談できる場」「学習の場」「地域とつながる場」が設定されていることを確認しました。コロナ禍の影響もあり実現できなかったこともあります、地域のNPOとの連携も進んでいることが共有できました。

まだ始まったばかりのプロジェクト、制度に頼らない形の運営の難しさの可能性について話し合っていきます。（阿部 麻夕子）

カフェスタッフの声

反町カフェぽらんと私

ぽらんには、(一社)ワーカーズ・コレクティブはっぴいさんからの紹介で、立ち上げ当初から関わっています。研修で他のカフェの見学なども行きました。私の主な仕事は、掃除、配膳、レジ、お弁当配達です。常連のお客様も増え、スタッフからお声掛けをしたり、相談を受けたりと、ぽらんは人と人をつなぐコミュニケーションの場になっています。

何より「美味しかった!」「ありがとう!」の聲が嬉しい瞬間です。私にとっても自分らしくいられる大切な居場所です。（島岡 愛子）



カフェチームのミーティングにて
(前列 左から2人目)

編集 後記



2025年度、NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会は、(一社)市民連帯経済つながるかながわの事業セクションの位置づけとして一体的運営を進めるために、情報機関誌「Sen」は106号をもって最終号とし、今後は会員団体やスタッフに向けた「理事会便り(仮称)」をメール配信します。2004年のヨーロッパ研修ツアーに参加し、イタリアの社会的協同組合視察以来、働きにくさを抱える人たちと「共に働く・暮らす」をめざし「はたらっく」の展開につながりました。さらなる運動・事業の拡がり、「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、ワーカーズ・コレクティブの社会的価値を発信していくことを期待します。ご愛読ありがとうございました。（中村 久子）